

小国高校

vol 188

2012.10

ジャーナル

地域文化学 特集 その3

1年生が「総合的な学習の時間」で取り組んでいる地域文化学各班の活動内容の経過を紹介します。(今回は3回目)

1 班

テーマ「小国町の地形・地質の成り立ちを探る」

指導教官：山形大学 地域教育文化学部

生活総合学科 川邊 孝幸 先生

1班は、山形大学の川邊孝幸教授からご指導をいただき、「小国町の地形・地質の成り立ちを知る」というテーマで学習活動をしています。昨年度の先輩方の活動で明らかになった地質をもとにして、沖庭神社周辺の山の地形・地質について調べています。

夏休み中に2日間の現地調査を行いました。採取した地質サンプルの年代測定などを行い、いつ、どのようにして形成されたのか、どのような地質で構成されているのかについて調査・分析しています。



4 班

テーマ「小国町の新しい魅力を探る。Oguu 第5号発行」

指導教官：東北公益文科大学 公益学部 呉 尚 浩 先生

これまで発行した冊子「Oguu」では、小国町で生産された雑穀を用いたお菓子や料理を紹介してきました。そこで今回は、雑穀で作ったお茶作りに挑戦しました。学校祭では、あわ・ひえ・もちきび・高きび・アマランサスでそれぞれ冷茶を作り、アンケートをとりました。一番人気のお茶は何だったと思いますか？その他、小国町の名所を紹介する動画も作成中です。発表会をどうぞお楽しみに。



発表会のご案内

1学年の「地域文化学」は、小中高一貫教育の柱として、小中学校で取り組む「白い森学習」を発展させ、総合的な学習の時間に実施しているものです。今年度も聞き取り取材などで多くの町民の方々のご理解とご協力をいただきながら、活動を進めることができました。

今年度生徒たちが取り組んだ成果を「地域文化学研究発表会」として下記の日程で発表いたします。各班毎に工夫をこらして発表いたしますので、ぜひご覧いただきたいと思います。

記

日 時 11月20日（火）（13時20分～15時10分）

場 所 小国高校 体育館

なお、当日夕刻よりおぐに開発総合センターにて「小国高校成果発表会」を予定していますので、こちらも是非ご覧下さい。その中でも地域文化学の研究の一部を発表します。